

緑や樹木に関する記事 16-149

吉田公園 チューリップ

60 品種 10 万本。開花が遅れ気味で、週末は半分ほどの見込み。黄やオレンジのアイスランドポピーが見頃。
(平成 29 年 3 月 31 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-148

下田・蓮台寺でしだれ桃祭り

下田市蓮台寺地区で 4 月 2 日まで、「しだれ桃の里祭り」が開かれている。地区住民が 30~40 年かけて約 300 本を植樹した。例年より開花が 1 週間ほど遅い。4 月上旬に見頃を迎える。
(平成 29 年 3 月 30 日 静岡新聞 朝刊)

ソメイヨシノ開花

浜松市西区館山寺町のはままつフラワーパークは 29 日、園内のソメイヨシノが開花したと発表した。昨年より 6 日遅い。見ごろの予想は 4 月 5 日ごろ。

ハルリンドウ見頃

春の訪れを感じさせるハルリンドウが、浜松市浜北区の県立森林公園で見頃を迎えている。公園内の湿地では、80 株ほどがあちこちに青紫色の花を上向き咲かせている。
(平成 29 年 3 月 30 日 中日新聞 朝刊)

ミヤマツツジ咲き始め

湖西市入出の正大寺のミヤマツツジが咲き始めている。今年は例年より 1 週間ほど遅く、早咲きの木は鮮やかな濃いピンク色の花が満開近くになっている。

緑や樹木に関する記事 16-147

島田のカタクリ園で開花

島田市金谷富士見町の牧之原公園内にあるカタクリ園で、市天然記念物のカタクリが紅紫色の花を咲かせた。公園内の斜面には約 1 万株のカタクリが自生、1985 年に金谷町の天然記念物に指定された。今年は開花が 1 週間ほど遅い。

(平成 29 年 3 月 28 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-146

地球環境史ミュージアム 自然観察路

ふじのくに地球環境史ミュージアムは 26 日の開館 1 周年に合わせ、有志が裏山に整備を進めていた自然観察路をお披露目した。NPO 法人県自然史博物館ネットワークや静岡市林業研究会、ミュージアムサポーターなどが手弁当で竹林を伐採したり丸太の橋を架けたりした。

(平成 29 年 3 月 27 日 静岡新聞 朝刊)

春恋し桜一輪

静岡市葵区の駿府城公園にある早咲きのソメイヨシノが 24 日、一輪だけ花を咲かせた。この日の最高気温は 13.8 度と平年を下回ったが、高気圧に覆われ春の日差しが注いだ。静岡地方气象台によるいと、气象台の標本木の花芽は硬く、開花宣言は 1 週間ほどかかりそうという。

(平成 29 年 3 月 25 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-145

「奥山高原」しだれ梅見頃

浜松市北区引佐町の観光植物園「奥山高原」のしだれ梅が見頃を迎えている。約 280 本の梅の木に咲いた色鮮やかなピンクと白の花びらが来園者を楽しませている。

(平成 29 年 3 月 22 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-144

富士宮 特定外来植物を駆除

自然保護団体や行政などでつくる「ふじさんネットワーク」が 19 日、富士宮市の国道 469 号沿いで、富士山の生態系に影響を与える恐れのある特定外来植物についての研修会を開き、参加した 44 人が「オオキンケイギク」の駆除体験に取り組んだ。

(平成 29 年 3 月 21 日 中日新聞 朝刊)

浜名湖花フェスタ開幕

浜名湖周辺で春の花々と観光を楽しむ「浜名湖花フェスタ 2017」が 18 日、浜松市西区のはままつフラワーパークと浜名湖ガーデンパークを主会場に始まった。

(平成 29 年 3 月 19 日 中日新聞 朝刊)

「花回廊」3117m 世界最長

藤枝市は 18 日、同市の蓮華寺池公園で、花のプランターを世界一長く並べるギネス世界記録に挑戦し、3117.17m を記録した。2013 年にウクライナで達成した 2847.9m を上回り、「最も長い花の列」としてギネス世界記録に認定された。

(平成 29 年 3 月 19 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-143

梅の樹オーナー交流

富士宮市稲子地区の梅生産農家で作る稲子梅部会はこのほど、同会が実施する「梅の樹オーナー制度」の契約者を招いた交流会を同市上稲子の梅林で開いた。

(平成 29 年 3 月 16 日 静岡新聞 朝刊)

牧之原公園魅力アップ

島田市の観光名所の一つ、牧之原公園のリニューアル工事が完了し、15日にオープンした。バリアフリーのトイレやベンチを設けた。

(平成 29 年 3 月 16 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-142

那賀川の桜並木を楽しもう

松崎町の松崎ウォータープレイガイドは昨年初開催し、好評だった那賀川の水から桜並木を楽しむ「花見舟」体験を 18 日から始める。専用サイトで予約を受け付けている。

ヒスイカズラ見頃

東伊豆町奈良本の熱川バナナワニ園で、フィリピン原産のつる植物「ヒスイカズラ」が見頃を迎えた。5月の連休まで観賞できる。

(平成 29 年 3 月 15 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-141

精進川の大カシワ 県指定文化財に

県文化財保護審議会は 13 日、県指定文化財に富士宮市の精進川の大カシワが指定するように答申した。精進川の大カシワは個人宅の敷地に立つ巨木で、樹高は 15.5m、幹回り 3.15m。近県でも最大級のため、指定基準を満たすと判断した。

(平成 29 年 3 月 14 日 中日新聞 朝刊)

県グリーンバンクと緑化推進協会 来月合併

県グリーンバンクと県緑化推進協会は 4 月 1 日、合併して両法人がそれぞれになってきた都市緑化と森林整備事業を一体化する。県グリーンバンクを存続法人とし、平野孝雄氏が理事長に就く。

(平成 29 年 3 月 14 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-140

花の寄せ植え作品 160 点

花の寄せ植え作品を一堂に展示する「花咲く伊豆の国フェア」が 10 日、同市の韮山反射炉芝生広場で始まった。12 日まで。

(平成 29 年 3 月 11 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-139

大寒桜 早くも満開

第 40 回伊豆高原桜まつりが 11 日、伊東市の伊豆急行伊豆高原駅周辺で開幕する。サクラの開花期に合わせ、イベントを 3 つの期間に分け、主会場も移動しながら 4 月 2 日まで続く。まつりの第 1 弾は、約 200 本の大寒桜が植栽された同駅前通り周辺がメイン。

(平成 29 年 3 月 10 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-138

「被爆アオギリ 2 世」植栽

長泉町は 8 日、非核都市宣言 10 周年を記念し、72 年前に広島市に投下された原爆で焼け焦げた「被爆樹木 2 世」のアオギリの苗木 1 本を町健康公園に植樹した。

(平成 29 年 3 月 9 日 静岡新聞 朝刊)

熱海梅園へ 20 万人

熱海市の熱海梅園で開催されていた「日本一早咲きの梅」を PR する梅まつりが 5 日、閉幕した。1 月 7 日から最終日まで 58 日間の総入園者数は 19 万 3345 人で、2016 年を 3187 人上回った。

(平成 29 年 3 月 8 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-137

マツこも外し

5 日、沼津市の沼津御用邸記念公園で、マツに巻き付けていたこもを外す作業が行われた。愛鷹山森林組合の組合員 4 人がクロマツ約 100 本にわら縄で巻いたこもをハサミで切って幹から取り外した。

(平成 29 年 3 月 6 日 静岡新聞 朝刊)

伐採危機の桜 小学校へ移植

1995年に操業を停止した日東紡静岡工場の旧社宅取り壊しに伴い伐採の危機にあった桜がこのほど、約1キロ離れた葵区沓谷の千代田小に移植された。8本のうち、運搬しやすい小ぶりな1本を保護した。

(平成29年3月5日 静岡新聞 朝刊)

三保松原 研究苗場設置へ

静岡市は3日、世界遺産富士山の構成資産・三保松原で計画する三保松原ビジターセンターの開館時期の2018年度末を目標に、シンボルの「羽衣の松」の遺伝子を持つ苗木を栽培する県市連携の「松研究苗場」を設置する方針を明らかにした。

(平成29年3月4日 静岡新聞 朝刊)

吉田町、事業所に植栽のススメ

自治体が商業施設や工場などの事業所に義務付けている敷地の緑化について、吉田町は2017年度からコンクリートなどの枠に芝生を組み合わせた「緑化ブロック」の使用を認めない方針を固めた。町は木々の植栽を促し、緑化の質の向上を目指す。

(平成29年3月4日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-136

アセビ 浜北で見ごろ

浜松市浜北区の県立森林公園で、アセビの花が見頃を迎えている。見ごろは今月末ごろまで。

(平成29年3月1日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-135

外来カミキリ桜食べ枯らす危険

桜の木を食べて枯らす外来種の昆虫「クビアカツヤカミキリ」が愛知、東京など7都道府県で確認され、環境省は輸入や飼育、野外への放逐を禁ずる「特定外来生物」に指定する方針を決めた。幼虫はバラ科の桜や梅、桃のほか、オリーブなどの樹木を食べて1~4年で成虫になる。原産は中国、朝鮮半島、ベトナムなど。

浜岡砂丘白砂公園 河津桜が見頃

御前崎市池新田の浜岡砂丘白砂公園近くの河津桜の並木約230本が見ごろを迎えている。今週末には満開近くになり、3月中旬まで楽しめる。

(平成29年2月28日 中日新聞 朝刊)

浜名湖花フェスタ

浜名湖周辺の観光名所などで展開する「浜名湖花フェスタ2017」が3月18日に開幕する。実行委が27日、浜松市役所で概要を発表した。今年は過去最多の46施設が参画し、6月11日まで開催する。

(平成 29 年 2 月 28 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-134

エコパの梅 300 本が見ごろ

袋井市の小笠山総合運動公園で、園路沿いの約 300 本の梅が見ごろを迎えた。

愛鷹広域公園で植樹祭

沼津市と沼津の森づくり実行委員会は 25 日、同市の愛鷹広域公園で第 7 回植樹祭を開催した。大岡地区自治会や地元住民ら約 150 人が苗木を植えた。

(平成 29 年 2 月 26 日 静岡新聞 朝刊)

県立森林公園 アカマツ苗木植栽

松くい虫による被害で減少したアカマツ林を復活させようと、浜松市浜北区の県立森林公園で 24 日、アカマツ苗木約 100 本の植え替えが行われた。

(平成 29 年 2 月 25 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-133

あらさわ紅桜見ごろ

河津桜を改良した早咲きの「あらさわ紅桜」が、御前崎市下朝比奈の「あらさわふる里公園」で見ごろを迎えている。現在が 5 分咲き。3 月上旬には一番の見ごろとなる見込み。

(平成 29 年 2 月 23 日 中日新聞 朝刊)

国道 136 号沿い菜の花見ごろに

南伊豆町日野の国道 136 号沿いで、菜の花が見頃を迎えた。「町の玄関」となる町立南伊豆東小と南伊豆東中の前に約 3ha の花畑が咲いている。

(平成 29 年 2 月 22 日 静岡新聞 朝刊)

相良公園で梅 見頃

牧之原市片浜の相良梅園で、白梅を中心に見ごろを迎えている。約 1.5ha の園内には、紅白の梅 700 本が植えられている。

(平成 29 年 2 月 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-132

浜北森林公園 親子が間伐

水源や防災としての森林の働きを知ってもらおうと、親子木こり体験会が 19 日、浜松市浜北区の県立森林公園で開かれた。研修施設「森の家」と公園の指定管理者の一般社団法人フォレメンテあかまつが企画。県西部の親子 9 組、25 人が参加した。地元の大工や森林所有者でつくる任意団体「TENKOMORI」が講師を務めた。

「龍の松」樹齢は 257 年

静岡県清水区の三保松原で 2015 年 10 月に亀裂が見つかり伐採された「龍の松」の年輪から松が生育した時代環境をひもとく講座が 19 日、同区の東海大学研修館であった。年輪年代学を専門とする東京農業大学木材工学研究室の桃井尊央助教が講師を務め「龍の松の樹齢は 257 年と少し」と発表した。

(平成 29 年 2 月 21 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-131

伊豆月ヶ瀬 「梅まつり」開幕

伊豆市の伊豆月ヶ瀬梅林で 19 日、恒例の「梅まつり」が開幕した。3 月 12 日まで。1500 本の梅が植えられている梅林は現在 4 分咲き。

(平成 29 年 2 月 20 日 静岡新聞 朝刊)

大仁梅林の梅の花見ごろ

伊豆の国市の大仁梅林の梅の花が見頃を迎えている。約 60a の同梅林には 80 種類 600 本の紅白の梅が植えられていて、現在 7 分咲き。

(平成 29 年 2 月 19 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-130

初島 河津桜と菜の花

県内唯一の有人島の初島で、菜の花や河津桜が咲き誇っている。菜の花は、初島公園や隣接する約 1300 m²の花畑に育つ。河津桜など複数の桜が見頃を迎え、スイセンのほか、アロエなど南国の花も咲いている。

(平成 29 年 2 月 17 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-129

湖西で梅まつり

湖西市大知波の「おおちばの里親水公園梅まつり」が始まった。公園に隣接する梅園の梅約 150 本が 26 日まで無料開放されている。

(平成 29 年 2 月 16 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-128

早咲き大知波桜 見頃

早咲きで知られる湖西市大知波大神山八幡宮の「大知波桜」が見頃を迎えている。

(平成 29 年 2 月 11 日 中日新聞 朝刊)

河津桜と菜の花 共演

南伊豆町で10日、「第10回みなみの桜と菜の花まつり」が始まった。濃いピンクの河津桜と、黄色の菜の花が下賀茂温泉の青野川沿いで開花している。

(平成 29 年 2 月 11 日 静岡新聞 朝刊)

羽衣の松から“クローン苗”

世界遺産富士山の構成資産、三保松原の保全に向けて県は10日、シンボルツリーの「羽衣の松」の“クローン苗”づくりに乗り出した。県の依頼を受けた「国立研究開発法人森林総合研究所林木育種センター」の担当者が、接ぎ木として活用する枝「穂木」を羽衣の松から採取した。

(平成 29 年 2 月 10 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-127

「河津桜まつり」あす開幕

河津町の河津川沿いで、早咲きとして知られる「河津桜」が次々と花開いている。暖冬の影響で今年は開花が例年より10日ほど早く、既に5分咲き以上。

菜の花早くも見頃

熱海市のアカオハーブ&ローズガーデンで、菜の花が早くも見頃を迎えた。開花状況は例年より2週間ほど早いですが、3月中旬～下旬まで観賞できそう。

(平成 29 年 2 月 9 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-126

しだれ梅と河津桜 共演

三島市中田町の食事どころ松韻の別邸「せせらぎ邸」敷地内のしだれ梅40本と河津桜10本が見ごろを迎えた。8日まで庭を無料開放する。

(平成 29 年 2 月 7 日 静岡新聞 朝刊)

「伊東小室桜の母樹」見頃

伊東市吉田の萩原農園で、早咲き種の「伊東小室桜」の母樹が見頃を迎えた。母樹は大島桜に接ぎ木し、現在は高さ 7m になった。接ぎ木で苗木を増やし県内外に約 2500 本植えている。

(平成 29 年 2 月 7 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-125

井田菜の花まつり

沼津市井田で 5 日、春の訪れを告げる「井田菜の花まつり」が行われた。会場の菜の花畑は「ぬまづの宝 100 選」の一つ。

(平成 29 年 2 月 6 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-124

沼津御用邸記念公園

沼津御用邸記念公園で、早咲きの梅が咲き始めた。植栽している梅は 15 種約 140 本。例年より 1 週間ほど早く開花した。

(平成 29 年 2 月 3 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-123

熱海 咲き誇る紅白梅

熱海市の梅園で開催中の梅まつりが、早くも最盛期を迎えた。園内に植えられた 59 品種 472 本のうち、1 月 31 日時点で 204 本が見ごろを迎えた。例年より 2 週間以上早い。梅まつりは 3 月 5 日まで。

(平成 29 年 2 月 2 日 静岡新聞 朝刊)

河津桜 中旬見頃に

河津町の中心部を流れる河津川沿いで、早咲きの河津桜が開花し始めた。今年は花の開きは例年より 1 週間ほど早く「2 月中旬に見頃を迎えそう。河川敷の両岸 4 km に約 800 本の桜並木が続く。

梅と富士山共演

富士市岩本の岩本山公園で 1 日、園内の梅と桜と富士山の眺望を楽しむイベント「絶景★富士山まるごと岩本山」がスタートする。

(平成 29 年 2 月 1 日 静岡新聞 朝刊)

みんなで花育て ギネスに挑戦

花のプランターを世界一長く並べるギネス記録への挑戦イベントに向け、藤枝市は31日、協力団体への花の苗の配布を藤枝総合運動公園で始めた。3月18日が本番でプランター4600個を蓮華寺池の外周に沿って並べ、現在の世界記録を140m上回る2987mを目指す。

(平成29年2月1日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-122

ロウバイ 250本 北條寺で開花

伊豆の国市南江間の北條寺でロウバイ250本が開花し、境内に甘い香りを漂わせている。同寺には鎌倉幕府の執権北条義時の墓がある。

(平成29年1月29日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-121

ふじのくに花緑コンクール

県などは25日、花の都づくりを推進する県民大会を静岡市駿河区で開いた。2016年度の「ふじのくに花の都しずおか・花緑コンクール」の入賞者を表彰した。

(平成29年1月27日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-120

静岡の植物 図鑑に

植物研究家でNPO法人県自然史博物館ネットワークの理事を務める杉野孝雄さんが、70年近い研究の成果をまとめている。第1弾として、県内の平地や山地で見られる普通植物を集めた「静岡の植物図鑑」の上巻を出版した。

チューリップが見頃

熱海市初島で、色とりどりのチューリップや菜の花が早くも見頃を迎えている。初島アイランドリゾート「R-Asia」内に約1万株植栽されている。

椿寒桜ほほ満開

西伊豆町の宇久須神社で早咲きの椿寒桜が見頃を迎えている。カンヒザクラとシナミザクラの交配種。

(平成29年1月25日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-119

花プランターのギネス挑戦

藤枝市の蓮華寺池公園で3月18日に行う花のプランターを並べるギネス世界記録への挑戦イベントに合わせ、県立藤枝北高園芸系列の2,3年生約80人がイベントで使用する花の苗1万株を育てている。世界記録更新に必要な苗は2万4千株。残りは県立農林大学校と県立磐田農高で育苗している。

(平成29年1月24日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-118

「土肥桜」ライトアップ

伊豆市の観光施設「土肥金山」は21日から、施設内の庭園に咲く「土肥桜」の夜間ライトアップを始めた。2月5日まで。

(平成29年1月23日 静岡新聞 朝刊)

あたま桜 まつり開幕

「早咲き日本一」をうたう「あたま桜」58本が咲き競う熱海市中心街の糸川遊歩道で21日、糸川桜まつりが開幕した。

(平成29年1月22日 静岡新聞 朝刊)

ロウバイ見ごろ

浜松市西区館山寺町の「はままつフラワーパーク」で、早春の花「ロウバイ」が見頃を迎えている。

(平成29年1月22日 中日新聞 朝刊)

梅ほころぶ

沼津市中沢田の大中寺の梅園の梅が咲き始めた。約5000㎡の梅園に約150本を植栽。2月11日の梅見の会で一般開放する予定。

(平成29年1月21日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-117

羽衣の松 地中に練炭灰

世界遺産富士山の構成資産、三保松原のシンボル「羽衣の松」の樹勢が衰えている問題で、現地で営業する売店から長年排出された練炭の灰が、松の生育を妨げる「固結層」生成の一因と考えられることが地元の地質学者の調査で分かった。

(平成29年1月20日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-116

家康 お手植えの実割梅

静岡市駿河区の久能山東照宮にある徳川家康ゆかりの実割梅が10輪ほど白い花を咲かせた。熟すと実が二つに割れるため、この名がついた。

(平成29年1月18日 中日新聞 朝刊)

ロウバイ 香り漂う

静岡市葵区の洞慶院でロウバイの花が見頃を迎えた。境内や梅園に40～50本のロウバイが植えられている。

チューリップ見頃

浜松市西区のはままつフラワーパークで、冬に咲くように開花調整したチューリップ約1万球が見頃を迎えた。

菜の花畑と絶景富士山

沼津市井田の菜の花畑で、開花とともに巨大な花文字が浮かび始めた。黄色の菜の花で描いた「井田」の巨大文字と富士山の絶景を楽しむ。

(平成29年1月18日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-115

富士山麓に植樹

富士宮市は15日、同市の富士山麓の県道富士宮富士公園線沿いでフジザクラとイロハモミジの植樹を行った。市が推進する「彩りのある街道づくり事業」の一環。

(平成29年1月17日 静岡新聞 朝刊)

花と紅茶 楽しんで

静岡市の花と紅茶を楽しむ花カフェが21日11時～16時、静岡駅北口地下広場のイベントスペースで開かれる。入場無料。

(平成29年1月17日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-114

土肥桜見頃

早咲きで知られる伊豆市土肥地区の土肥桜が見頃を迎えた。市観光協会土肥支部によると、例年より2週間早く、昨年とほぼ同じ。土肥桜は濃いピンクが特徴。寒緋桜系の雑種で、1958年ごろ見つかри、地区に広まった。

(平成29年1月15日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-113

菜の花と富士

沼津市大平のJAなんすん大平支店前にある、菜の花畑が見頃を迎えた。地元住民や写真愛好家には、富士山とともに早春の写真が撮れるなじみ深いスポットだが、土地の売却が決まったことから、今年で見納めになる。

(平成 29 年 1 月 13 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-112

あたま桜 満開

熱海市内各所で、早咲き品種「あたま桜」の開花が例年より 2 週間ほど早く進んでいる。58 本が植栽された糸川遊歩道では 10 日までに全て開花し、32 本が見ごろを迎えた。早ければ今週末から来週にかけ、市内全体で最盛期に入るとみられる。2月上旬まで楽しめそう。

(平成 29 年 1 月 12 日 静岡新聞 朝刊)

立木さん「樹木医」取得

樹木の保護管理や樹勢回復などに関わる専門家「樹木医」の資格を、伊東市川奈の造園会社役員、立木秀季さんが昨年末、市内で初めて取得した。

(平成 29 年 1 月 12 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-111

赤蛙公園 散策しやすく

伊豆市が 2016 年度事業として行っている、作家島木健作ゆかりの「赤蛙公園」の再整備がほぼ完了した。園路の改良や桜の植樹などを施し、魅力づくりを進めている。

熱海梅園 梅まつりが開幕

熱海市の熱海梅園で 7 日、梅まつりが開幕した。園内の早咲き梅が既に 3 分咲きと例年より 2 週間以上早い開花状況。

爪木崎 スイセン見ごろ

下田市須崎の爪木崎水仙園で、群生する 300 万本の野水仙が見頃を迎えた。

(平成 29 年 1 月 8 日 静岡新聞 朝刊)

校庭の樹木を紹介

県西部の小中学校で子どもと校庭の樹木を調べる出前講座を開いている浜松市北区細江町のNPO法人ラブ・ネイチャーズがこのほど、これまでに調べた樹木をまとめた書籍「知って楽しむ校庭の樹木」を発行した。

(平成 29 年 1 月 7 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-110

浜名湖ガーデンパーク 酉年 地上絵

浜松市西区村楡町の浜名湖ガーデンパークの中央芝生広場に、今年の干支の「酉」にちなんだ地上絵がお目見えした。

(平成 29 年 1 月 5 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-109

ジャンボ門松 フラワーパークに設置

浜松市西区館山寺町のはままつフラワーパークの入り口に 26 日、パーク内で育てられた縁起物の植物があしらわれたジャンボ門松が設置された。門松の高さは 3.57m で松や梅、センリョウなど園内で育てた植物を使用。

(平成 28 年 12 月 27 日 中日新聞 朝刊)

起雲閣に門松設置

熱海市昭和町の起雲閣に 26 日、門松が設置された。庭園管理を担う地元業者の芳香園が、10 年以上前から毎年無償で提供している。

(平成 28 年 12 月 27 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-108

下田公園 ツバキ開花

下田市の下田公園で、ツバキが開花し始めた。来年3月にかけて、161 品種、約 5 千本のツバキが順番に花を咲かせる。

(平成 28 年 12 月 22 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-107

下田で水仙まつり開幕

下田市須崎の爪木崎水仙園で 20 日、恒例の水仙まつりが開幕した。見ごろは来年 1 月 10 日ごろの見込み。2 月 10 日まで。海岸一帯の 10 万㎡に 300 万本のニホンスイセンが群生している。

(平成 28 年 12 月 21 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-106

河津町営見本園が開園

河津町田中の町営かわづカーネーション見本園が18日、開園した。約 1500 m²の敷地内で色とりどりの 378 種類、13650 株を温室栽培している。2017 年 5 月 14 日まで。

(平成 28 年 12 月 19 日 静岡新聞 朝刊)

献上梅を切り取り

熱海市は 15 日、皇室に献上する熱海梅園の紅白梅の枝切りを行った。天皇陛下の誕生日をお祝いする恒例の行事で 41 回目。21 日に市職員が宮内庁や交流のある英国、韓国の両大使館に届ける

(平成 28 年 12 月 16 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-105

「土肥桜」が開花

伊豆市土肥地区で、早咲きで知られる「土肥桜」が早くも開花した。市観光協会土肥支部によると、例年より3週間以上早いという。見ごろは1月中旬からで、2月上旬まで楽しめる見込み。

(平成 28 年 12 月 15 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-104

マーガレット 夏枯れ防止

県農林技術研究所伊豆農業研究センターは13日、マーガレットの研究会を南伊豆町で開いた。開発中の新品種を生産者に紹介するとともに、課題となっている夏季の生育不良対策について「かん水方法を改善してほしい」と呼びかけた。

(平成 28 年 12 月 14 日 静岡新聞 朝刊)

日本平動物園でプランター植替

静岡市造園緑化協会は 5 日、日本平動物園プランター花苗植栽作業を実施した。当日は、エントランスゲートにあるプランターと、レストハウス前の花壇にパンジー、ストック、アリッサム、ノースポールの 4 種類、合計 440 株を植え園内に彩りを加えた。

(平成 28 年 12 月 14 日 建通新聞)

緑や樹木に関する記事 16-103

「古谿荘」特別公開

富士市岩淵の国指定重要文化財「古谿荘」の庭園が10日、特別公開され、市民らが豪華な別荘からの眺めを堪能した。古谿荘は明治の元勲で宮内大臣を務めた田中光顕の別荘で、現在は一般財団法人野間文化財団が管理している。

(平成28年12月11日 静岡新聞 朝刊)

沼津特別支援学校 花壇作り

沼津市大塚の県立沼津特別支援学校中学部の生徒がこのほど、同市の愛鷹広域公園で花壇作りに取り組んだ。花壇作りは身近な人のために働く達成感を目的とした作業学習の一環。

(平成28年12月10日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-102

羽衣の松 2段階で対策

世界遺産・富士山の構成資産である三保松原の保全策を県と静岡市が考える「第6回三保松原実行委員会」が8日、県庁であった。「羽衣の松」の樹勢回復に向け、来年1月以降、2段階の対策で土壌改良とマツの生命力回復を図る方針を決めた。1次改良では固結層に穴を開け、透水性を高める資材を埋め込む、効果を見極めたうえで、2017年以降に2次改良として木炭の量を増やす。

(平成28年12月9日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-101

土肥桜 10本を松原公園に移植

伊豆市観光協会土肥支部と市はこのほど、日本一早咲きともいわれる「土肥桜」の移植作業を同市土肥の松原公園で行った。これまで目立たない場所にあったため、すでに桜の木がある同公園に集めることにした。

(平成28年12月8日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-100

あたま桜 もう開花

熱海市が「日本で最も早く咲く桜」とアピールする早咲きの「あたま桜」が6日、市内で開花が確認された。あたま桜は、沖縄原産のカンヒザクラとヤマザクラとの自然雑種。満開は来年1月中旬と予想され、糸川遊歩道を中心に、1月21日から2月12日まで「あたま桜・糸川桜まつり」を開く。

(平成28年12月7日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-99

三保松原ビジターセンター

静岡市が世界遺産富士山の構成資産、三保松原で計画する三保松原ビジターセンターの開館時期が当初予定の2019年10月から半年遅れる問題で、市は5日、文化庁諮問機関の指摘を受けて改善した建物の外観イメージを公表した。

熱海 ヒマラヤザクラ咲き誇る

ネパールの故ビレンドラ国王から贈られた種で育てた複数のヒマラヤザクラが、熱海市渚町の親水公園や県立熱海高下の斜面などで開花している。

(平成28年12月6日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-98

一碧湖畔の紅葉が見頃

伊東市の一碧湖畔で、紅葉が見頃になった。温暖な伊豆にあって、一碧湖畔は紅葉の隠れた名所のひとつ。

(平成28年12月4日 中日新聞 朝刊)

熱海梅園 紅葉が見頃

熱海市梅園町の熱海梅園で、モミジの紅葉が見頃を迎えた。4.4haの梅園にはウメ470本に加え、イロハモミジ、イチジョウ、ムサシノなどのカエデ類が380本ある。

(平成28年12月3日 中日新聞 朝刊)

大田花きフラワー・オブ・ザ・イヤー

花卉卸売国内最大手の大田花きは、取り扱った花きの中で最も魅力ある品種に贈る本年度「フラワー・オブ・ザ・イヤーOTA」の表彰式を2日に行った。最優秀賞に浜松市北区の鈴木明典さんが生産した「トルコギキョウ NF アンティークピンク」が輝いた。県内で生産された花の同賞受賞は初めて。

(平成28年12月3日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-97

下田・花まつり 開幕

下田市白浜のアロエの里で1日、「花まつり」が始まった。今年は暖かい日が多く、朱色の花が早くも見頃を迎えている。2017年1月4日まで。アロエ製品や特産のサンマズしなどを販売している。

(平成28年12月2日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-96

富士宮北高 県道沿いの花植え替え

県立富士宮北高は29日、同校前の県道414号富士富士宮線沿いで、花の植え替えを行った。市の緑化推進運動の一環で年2回、夏花・冬花の植栽作業を行っている。

(平成28年12月1日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-95

全日本花卉装飾技術大会で銀賞

静岡市清水区のフラワーデザイナーの天野美千子さんが、盛岡市で10日に開かれた「第37回全日本花卉装飾技術選抜選手権大会」で銀賞を受賞した。

(平成28年11月30日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-94

フジ棚に光のトンネル

浜松市西区館山寺町のはままつフラワーパークで、約百万個の電飾を使用した「フラワーイルミネーション」が行われている。園中央の池沿いにあるフジの花のトンネルに電飾をつけた。

(平成28年11月28日 中日新聞 朝刊)

街路樹倒れ作業員けが

25日午後1時ころ、静岡市駿河区石田の歩道で、街路樹が倒れ、木に登って剪定していた男性作業員2人がけがをした。

(平成28年11月28日 静岡新聞 朝刊)

早咲きの梅 開花

早咲きの梅の名所として知られる熱海市の熱海梅園でこのほど、早くも梅の初開花が確認された。

(平成28年11月23日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-93

修善寺自然公園 紅葉見頃

伊豆市の修善寺自然公園もみじ林の紅葉が始まり、県内外の多くの観光客で連日賑わっている。約 1ha の園内に植えられた千本の木々が赤や黄色に色づいている。

(平成 28 年 11 月 22 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-92

豊門公園紅葉ライトアップ

小山町藤曲の豊門公園で 20 日、もみじまつりが開幕した。

(平成 28 年 11 月 21 日 静岡新聞 朝刊)

虹の郷でライトアップ

伊豆市の修善寺虹の郷で 18 日夜、紅葉の季節に合わせた夜間イベント「もみじライトアップ」が始まった。

(平成 28 年 11 月 20 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-91

桜と紅葉 共演見頃

モミジバフウなどの紅葉とジュウガツザクラの花が、浜松市南区の市緑化推進センターみどりーなで、見頃を迎えている。同センターのギャラリーでは、県さくらの会による写真展も開催。

(平成 28 年 11 月 18 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-90

フルーツパーク イルミネーション開幕

浜松市北区都田町のはままつフルーツパーク時之栖で、県西部エリアで最大規模という冬のイルミネーションが始まった。約 300 万球の発光ダイオードと白熱球の明かりが、園全体を華やかに彩っている。

(平成 28 年 11 月 17 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-89

寸又峡 色鮮やか

川根本町の寸又峡温泉付近の紅葉が見頃を迎えている。一般車両が通れない寸又峡プロムナードコースの入り口から夢の吊橋までは、12 月 7 日まで高齢者らを対象に電動カートの運行を実施している。

(平成 28 年 11 月 16 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-88

文化財の高麗門 彩る菊 70 鉢

富士宮市の文化財「井出家高麗門及び長屋」を小菊が彩る「井出家高麗門と菊花展」が、同市狩宿の井出館で開かれている。

(平成 28 年 11 月 15 日 中日新聞 朝刊)

皇帝ダリア見頃

浜松市西区の浜名湖ガーデンパークや同区の園芸愛好家の庭先で、中南米原産の「皇帝ダリア」の花が見頃を迎えている。

(平成 28 年 11 月 13 日 中日新聞 朝刊)

三島の旧東海道松並木 こも巻き

立冬の 7 日朝、三島市の箱根峠に続く国道 1 号の松並木でこも巻きが行われた。

(平成 28 年 11 月 12 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-87

リトルエンジェル見頃

下田市の寝姿山自然公園でリトルエンジェルが見頃を迎えている。リトルエンジェルはノボタンの 1 種で、紫からピンク、赤紫と花の色が変化することからサンショクノボタンとも呼ばれている。

(平成 28 年 11 月 11 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-86

モミジバフウ色づく

浜松市浜北区の県立森林公園で、モミジバフウの紅葉が見頃を迎えている。

(平成 28 年 11 月 9 日 中日新聞 朝刊)

三保松原 効果を検証

世界遺産富士山の構成資産、三保松原の松林の保全に向けて、松枯れ対策の専門家が 8 日、現地視察した。市によると、9 月末現在で伐採したマツは 73 本と前年同月比でほぼ半減している。

(平成 28 年 11 月 9 日 静岡新聞 朝刊)

立冬に合わせ「こも巻き」

愛鷹山森林組合は 7 日、沼津市下香貫の沼津御用邸記念公園で、害虫から松を守る「こも巻き」を行った。

(平成 28 年 11 月 8 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-85

遠州の森林 認証取得へ

世界水準の質の高い森づくりに向け、掛川市、森町の両森林組合と県などで作る「遠州森林認証グループ」が、森林管理協議会(FSC)の認証取得を目指している。16～18日に本審査が行われ、来年2月ごろに合否が判明する。

(平成28年11月5日 静岡新聞 朝刊)

島田 バラ咲き誇る

島田市ばらの丘公園で「秋島田ばらの丘フェスティバル」が開かれている。園内には360品種、8700株が植えられている。花は今月末までが見頃。

(平成28年11月3日 中日新聞 朝刊)

屋久島でまた新種

鹿児島島の屋久島で、光合成をせず、根に共生するキノコやカビなどの菌から栄養をもらう「菌従属栄養植物」の1種であるラン科の新種が見つかり、「タブガワムヨウラン」と名付けられた。屋久島では今年2月にヤクシマソウの発表があった。

(平成28年11月3日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-84

全国花のまちづくりコンクール

浜松市中区の自宅近くで私設バラ園「ばらの都苑」を運営している天野和幸さんがこのほど、全国花のまちづくりコンクールの個人部門で最高賞の「農林水産大臣賞」を県内で初めて受賞した。広さ4000㎡の園内に300種1500株のバラをはじめ、ハナモモやユリ、クリスマスローズなどを植栽。年間1万人に上る入園者を楽しませている。

(平成28年11月2日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-83

佐吉生誕 150周年 花添える

湖西市出身の発明王、豊田佐吉の生誕150周年を盛り上げようと、地元の花のボランティア団体「なすび会」が同市内で手入れしてきた花畑が見頃を迎え、「150」の数字が花の色でくっきりと浮かび上がった。

(平成28年11月1日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-82

クッションマムで街に彩り

富士宮市の駅前通り商店街と中央商店会でこのほど、クッションマムの街頭展示が始まった。クッションマムは丸みを帯びた形の菊で、ザル菊やボサ菊と呼ばれる。

(平成 28 年 10 月 30 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-81

磐田でベニバナトケイソウ見頃

磐田市合代島の青野はる子さん方のオープンガーデンで南米原産のベニバナトケイソウが見頃を迎えている。

御前崎 菊花 150 点競演

御前崎市下朝比奈のあらさわふる里公園で 29 日から恒例の菊花展が始まる。29 日には満開となったコスモス祭りも開幕する。

(平成 28 年 10 月 28 日 中日新聞 朝刊)

浜松市西区 草木類 1 日 50 トン処理

うなぎいもブランドで菓子などを製造販売する造園業のコスモグリーン庭好は、草木類廃棄物の破砕処理施設を西区馬郡町に移転新築し、31 日から稼働する。農家や造園業者が持ち込んだ草木類を細かく破砕し、たい肥や家畜の敷き藁のほか、ウナギイモのたい肥の原料に活用する。

(平成 28 年 10 月 26 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-80

アカオハーブ&ローズガーデン ダリアやノボタン見頃

熱海市のアカオハーブ&ローズガーデンで、色とりどりのダリアやノボタンが咲き誇っている。約 200 種ある秋バラも咲き始め、1~2 週間後に見頃をむかえる。

(平成 28 年 10 月 25 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-79

富士宮・内房地区 コスモス見頃

富士宮市内房地区の新長田橋付近の遊休農地で、コスモスの花が見頃を迎えている。地元の住民団体が 1500 m²ほどの畑に今夏初めて種をまいた。

(平成 28 年 10 月 22 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-78

三保松原 固結層分布を把握

世界遺産富士山の構成資産、三保松原の樹勢回復に向け、県と静岡市は 21 日、地中レーダーを使った土壌調査を日本大学の協力で行った。羽衣の松東側の広いエリアで、根の生育を阻害する地中の「固結層」の分布状況を調べた。

(平成 28 年 10 月 21 日 静岡新聞 夕刊)

緑や樹木に関する記事 16-77

秋バラ深紅あでやか

熱海市上多賀の植物庭園「アカオハーブ&ローズガーデン」で、秋バラが見頃を迎え、特有の色濃い花が咲き誇っている。11 月中旬まで。

(平成 28 年 10 月 20 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-76

西伊豆・安良里 ハマボウの苗植栽

西伊豆町の安良里漁港内の堤防で 18 日、静岡大の増沢特任教授がハマボウの苗の植栽を行った。防災林として津波のエネルギーを抑える防潮堤機能に期待する。

(平成 28 年 10 月 19 日 静岡新聞 朝刊)

休耕田有効利用 コスモス見頃

藤枝市岡部町殿で休耕田を利用したコスモス畑が見頃を迎えている。約 4ha で「殿コスモスを咲かせてみよう会」が 8 月に 100 kg の種をまき、10 月上旬に開花し始めた。

(平成 28 年 10 月 19 日 中日新聞 朝刊)

吉田公園 オータムフェスタ

多彩なステージ披露や体験会などでにぎわう「オータムフェスタ」が、吉田町川尻の吉田公園で開かれている。23 日まで。芝生広場では 7 万株のコスモスが咲き誇る。

(平成 28 年 10 月 18 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-75

ガーデンパーク コスモスと地上絵

浜名湖ガーデンパークで、コスモスが見頃を迎えている。「花ひろば」の 3000 m²に、40 万本のコスモスが植えられ、展望台から見下ろすと、紅葉のカエデを表現した地上絵も楽しめる。

三保松原「ビジターセンター」開館半年遅れ

世界文化遺産富士山の構成資産、三保松原に市が建設を計画するビジターセンターの開館が当初予定の2018年10月から半年遅れ、2019年春ごろになるとわかった。文化審議会文化財分科会の名称委員会で、市が提案したガラス張りの建物外観など複数箇所を集成するよう指摘され、必要な許可が得られなかった。

(平成28年10月15日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-74

浜松で植木まつり

季節の花木を展示即売するJAとびあ浜松恒例の「秋の植木まつり」が15～17日、浜松市浜北区新原の浜北営農緑化木センターで開かれる。

(平成28年10月14日 中日新聞 朝刊)

南伊豆「花の名所」づくり

景観向上のために耕作放棄地や休耕田を整備する「第25回元気な百姓祭」が12日、南伊豆で開かれた。約200人が参加し、草を刈り、田んぼ0.5haに菜の花の種をまいた。周辺の田んぼにも種をまき、計4ha以上の花畑に広げるといふ。

(平成28年10月13日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-73

秋バラ見頃

河津町峰のバラ園「河津バガテル公園」で、秋バラが見頃を迎え、来園者を楽しませている。秋バラは夜と昼の気温差が大きいので、春バラに比べて花びらの色が濃く、香りが強いのが特徴。

(平成28年10月12日 中日新聞 朝刊)

コスモス畑で園児が花摘み

伊豆の国市の「大町美農里クラブ」は11日、同市江間のコスモス畑に地元の園児を招き、花摘み体験イベントを行った。

(平成28年10月12日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-72

幻の芝川ノリ復活へ

芝川水系の恵みを受ける富士宮市立白糸小で7日、「芝川ノリ」の養殖実験が始まった。校内を通る水路に水の流れを作り出し、昨年は水中のコンクリート板に付着させたノリの胞子の生育に成功。今年は長さ1mのロープを用いる新たな試みという。

(平成28年10月8日 静岡新聞 朝刊)

浜北区・森林公園

浜松市浜北区の県立森林公園で、ツリガネニンジンが、秋の深まりを感じさせてくれる。

(平成28年10月8日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-71

東伊豆町でススキイベント

東伊豆町稲取の細野高原で5日、「秋のススキイベント」が始まる。東京ドーム26個分、125haのススキの大草原は国内最大級。イベントは11月11日まで。

(平成28年10月5日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-70

羽衣の松 木炭投入

世界遺産富士山の構成資産三保松原のシンボル「羽衣の松」の樹勢回復に向け、県と静岡市は3日、地中に張った根の近辺に木炭を投入する土壌改良を施すことを決めた。12月にも着手し、2年以上かけて効果を確認する。

(平成28年10月4日 静岡新聞 朝刊)

サワギキョウ浜北区で見頃

浜松市浜北区の県立森林公園で、サワギキョウが見頃を迎えている。見ごろは10月中旬ごろまで。

熱川バナナワニ園「チヨウキレン」

東伊豆町奈良本の熱帯動植物園「熱川バナナワニ園」で、中国原産の植物「チヨウキレン」が直径30cm台の大きな黄金の花を咲かせ、来園者の目を楽しませている。

(平成28年10月4日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 16-69

河津バガデル公園 秋バラフェス

河津町峰の町営バラ園「河津バガデル公園」で1日、秋バラ・ローズヒップフェスタが開幕する。11月30日までの期間中、様々なイベントを繰り広げる。10月中旬ごろ見頃を迎える。

(平成 28 年 10 月 1 日 静岡新聞 朝刊)

花と緑の祭り

浜松市の中心市街地から花と緑のある暮らしを発信する「浜松花と緑の祭 2016」が 10 月 15 日、16 日両日、浜松市中区アクト通りと東ふれあい公園で開かれる。実行委員で市川造園社長の市川明広さんは市担当者とともに 29 日、中日新聞東海本社を訪れ、PRした。

(平成 28 年 9 月 30 日 中日新聞 朝刊)